

フェアプレイについて

フェアプレイには2つの意味があると思います。

一つは、行動としてのフェアプレイです。

スポーツは定められたルールのもと、対戦相手（記録）と競い合い勝利を目指します。その時に、ルールを守る、審判や対戦相手を尊重する、全力を尽くして戦い、勝っても驕らず、負けてもふてくされたりしないことなど、実際の行動としてのフェアプレイ（フェアなプレイ）です。

そしてもう一つは、フェアプレイ精神というもの。

まさにフェアな心（魂）のことを意味します。これはスポーツの場面に限らず日常生活の中でも、自分の考えや行動について善いことか悪いことかを自分の意志で決められること。自分自身の心に問いかけた時、恥ずかしくない判断ができる心（魂）のことをいいます。

行動としてのフェアプレイは、定められた決まりの中で、誰から見ても善いと思われる行為になります。一方、心（魂）のフェアプレイは自分自身の心のあり方によるものですから、他人からは見る事が出来ません。しかし、行動と精神は切り離せないものです。だからこそ、この2つのフェアプレイは、スポーツを真に楽しむ上で欠かせないものです。

フェアプレイ宣言

私たちは、スポーツを愛する者として、何ごとにも全力で取り組み、精神・肉体ともに成長させることに努めましょう。

そして、フェアプレイを通じて、思いやり、誇り、努力、勇気を最大限に発揮し、その力を人に、地域に、社会のために生かしていきましょう。

そのための具体的な行動として、「握手をする、あいさつをする、ありがとうと言う」、の3つを実践していくことを宣言します。

あくしゅ、あいさつ、ありがとう

○握手をしよう

ゲームを始める時、ゲームができることへの感謝の気持ちを込めて、対戦相手と審判と握手をしよう。

ゲームが終わった時、互いの健闘を称え合い、対戦相手と握手しよう。
ゲームを進めてくれた審判に、再び感謝の気持ちを込めて握手しよう。

○あいさつをしよう

練習が始まる時、仲間たちとあいさつをしよう。

きっと信頼はどんどん深まるはず・

練習場所で会う人や、町の人たちにもあいさつをしよう。

その一言がスポーツの和を広げることになるはず。

○ありがとうと言おう

家族やコーチに、ありがとうと言おう。

審判や応援してくれる人たちに、ありがとうと言おう。

ゲームの準備をしてくれた人たちに、ありがとうと言おう。

もっともっと、キミたちを支えてくれるようになるから。

試合に臨む心構えとしてある フェアプレイ7カ状

1. 約束を守ろう
2. 感謝しよう
3. 全力をつくそう
4. 挑戦しよう
5. 仲間を信じよう
6. 思いやりを持とう
7. 楽しもう

※公益財団法人日本体育協会より